

平成 30 年 2 月 9 日

各 位

会 社 名 ケネディクス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 宮島 大祐
(コード番号:4321 東証一部)
問い合わせ先 経営企画部長 寺本 光
電 話 番 号 (03)5157-6100

中期経営計画策定に関するお知らせ
(Partners in Growth, Next 2020)

当社は、2015年に定めた長期ビジョン「Kenedix Vision 2025」及び中期経営計画「Partners in Growth 2017」に基づき、企業価値の向上に取り組んでまいりました。これまでの3年間においては、自社で不動産を直接保有せず、顧客投資家のために不動産の投資機会を創出し、運用から売却まで一貫したアセットマネジメントサービスを提供する「ケネディクスモデル」が本格軌道に乗り、今後の持続的な成長に向けた基盤を固めることができました。

近年の世界的な金融緩和を背景に、投資対象としての不動産への注目度は国内外で益々高まっており、投資家層の拡大と投資ニーズの多様化が進む中、不動産への投資機会の提供者としての当社に期待される役割は一層大きくなっています。

また、社会の構造変化や技術革新のスピードが年々増しており、不動産においても1990年代から急速に進んだ証券化に匹敵する大きな変化の兆しが見られます。不動産証券化の黎明期にあった1995年の設立以来、機動性と柔軟性をもって不動産の可能性を切り拓いてきた当社にとって、こうした変化は新たな成長のチャンスであると考えています。

当社ではこれらの点を踏まえ、2018年からの3年間で「ケネディクスモデルの発展期」と捉え、前計画に続く第2段階の中期経営計画として「Partners in Growth, Next 2020」(以下「本計画」といいます。)を策定しました。

本計画では、当社の強みである投資案件の組成力と運用力を高め、顧客投資家層を拡大し、ケネディクスモデルを多方面に発展・深化させることで、当社の収益基盤を一層強化してまいります。また、機動的な投資と健全な財務体質を維持しながら、資本の有効活用と株主還元の実現を図り、不動産アセットマネジメントのリーディングカンパニーとして企業価値の一層の向上を目指します。

A. 基本方針

- (1) 不動産アセットマネジメントを中心とするビジネス領域の拡充
- (2) 機動的かつ戦略的な投資の推進
- (3) 時代の変化を捉えた新たな成長分野の開拓
- (4) 持続的成長と社会的責任の両立に向けた経営基盤の強化

B. 定量計画

指標	計画数値(連結)
ROE	3年平均 10%以上
総還元性向	3年平均 50%以上

C. 重点施策

- (1) 不動産アセットマネジメントを中心とするビジネス領域の拡充
 - 受託資産残高(AUM)と安定収益の拡大につながる多様な投資機会の創出
 - 国内外における顧客投資家層の拡大と投資家リレーションの深化
 - 投資案件の組成力と運用力を向上させる運用体制の強化
 - アセットマネジメントの付加価値を高める関連サービスの強化
 - ビジネス領域の拡充に資する戦略的 M&A や事業提携の模索
- (2) 機動的かつ戦略的な投資の推進
 - 顧客投資家との共同投資の推進
 - 当社グループ運用ファンドの成長につなげる機動的な投資の実行
 - 海外や成長分野でのビジネス拡大に資する戦略的な投資の実行
 - 分散と規律の保たれた投資ポートフォリオの維持とモニタリング体制の強化
 - 財務の健全性と透明性の堅持
- (3) 時代の変化を捉えた新たな成長分野の開拓
 - アジア市場における事業の拡大
 - 米国市場でのアウトバウンド投資ビジネスの推進
 - ホテル、民泊、サービスアパート等の滞在型施設運営ビジネスの推進
 - 「不動産×金融×テクノロジー」に焦点を当てた新ビジネスの立ち上げ
- (4) 持続的成長と社会的責任の両立に向けた経営基盤の強化
 - 組織と個人の生産性を高める社内インフラの進化
 - ケネディクスモデルの礎となる多様な人材の確保・育成
 - 社会の変化に応じた柔軟な働き方の追求
 - ESG(環境、社会、ガバナンス)への取り組み推進

以上

(別添 参考)

ミッションステートメント

ケネディクスは不動産の限りなき可能性を切り拓きます

長期ビジョン

Kenedix Vision 2025
ケネディクスモデルで成長
AUM4兆円、グループ時価総額2兆円、ROE15%

新中期経営計画

Partners in Growth, Next 2020
ケネディクスモデルの発展期

ケネディクスモデル

1. **アセットマネジメント事業** : ケネディクスは、自ら不動産を保有せず、常に顧客投資家へ良質な投資機会を提供します。
2. **不動産関連事業** : ケネディクスは、グループで運用するファンドの価値向上に資する不動産関連業務を展開します。
3. **不動産投資事業** : ケネディクスは、グループで運用するファンドに対して、顧客投資家との共同投資を行います。

ケネディクスは、自ら不動産を保有しません。
グループで組成・運用するファンドが保有します。

ミッション

長期ビジョン
Kenedix Vision 2025

新中期経営計画
Partners in Growth, Next 2020